

危機感を強くもつべき時

「非常に申し上げにくいのですが、コロナに感染しました。」
名古屋で働いている二男からメールが来ました。私は、我が子がコロナに感染した事実に関心を持っていましたが、正直言って驚きはしませんでした。なぜなら、家族の中で感染するとしたら、彼が最も感染の可能性が高いと前々から覚悟していたからです。

二男の職場には、非常に多くの不特定多数の人が出入りします。その中には、感染者も当然いることと思います。そういう職場であれば、念入りに感染症対策をしても、目に見えないウイルスは防ぎきれないでしょう。したがって、二男については「感染しなければ幸い」と前々から思っていました。

昨日、国内感染者が初めて三万人を超えました。岐阜県においては、過去二番目に多い三百八十二人。三百人を超えるのは今年の八月三十一日以来です。

新聞にも掲載されましたが、東濃地区の高等学校、小中学校、園でも陽性者が出ています。市内にも児童生徒に感染が判明した学校や園があります。こういう状況であると、これまで以上に接触を断たないと、感染を阻止することはできません。小中学生で言うくと、兄弟関係、塾関係、クラブ関係などの感染経路が十分考えられます。いつ、だれが感染してもおかしくない状況がすぐそこにある、という危機感を強くもつべき時にきています。

どうですか、あなたにはその危機感がありますか。痛い思いをしないとわからないというレベルでは、感染が阻止できません。自分も苦しい思いをしない、そして、周りの人にもさせない。そういう思いをこれまで以上に強くもたないと感染は防ぎきれないのであれば、どうでしょうか。

私の二男は、就職してから一昨年七月まで、自宅から通ってました。自宅は名古屋への通勤圏内でしたが、その後突然、家を出て一人暮らしをする、と言い出しました。勤務地に近い方が楽でよいというのが彼の理由でしたが、今から考えると、感染の可能性が高いので家族に迷惑をかけられないと考えたのかと思っています。

その彼がコロナに感染し、現在たった一人で自宅（アパート）療養しているかと思うと切なくなってきました。親としてすぐさま駆け付け、そばにいてやったり身の回りの世話をしたりしたいところですが、それはかかいません。「非常に申し上げにくいのですが」などと書いてきた彼の心情を考えると、今は電話やメールで様子を聞いたり、瑞浪から回復を祈ったりすることしかできません。

中学生であれば、新聞やテレビから現在の情報を積極的に集めてください。周りから指示されたり注意されたりすることを忠実に受け入れるだけではなく、情報を入手し、自分の判断で感染防止に努めてください。それが本来の感染予防です。危機はすぐそこま